

目黒星美学園中学高等学校生徒からの寄付金の贈呈について

このたび、目黒星美学園中学高等学校（東京都世田谷区）の生徒から、学園祭の収益金をマンホールトイレの整備にと、寄付をいただくこととなりました。

つきましては、下記のとおり寄付金贈呈式を執り行いますので、報道機関の皆様の御取材方よろしくお願い申し上げます。（生徒、教員、30名程度来庁します）

1 日時・場所

令和元年7月23日（火）9時～（1時間程度）
東松島市役所 本庁舎3階 301会議室



2 目黒星美学園とは

中高一貫の女子学園です。

学園の特色として、「進路選択プログラム」と「校外学習プログラム」を両輪に社会進出な大切な能力・適応力を学んでいます。

また、防災教育にも熱心で、災害時の対応等、多彩な内容で学習しているほか、被災地支援にも積極的に取り組んでおり、東日本大震災よりプロジェクトを立ち上げ、被災地ボランティア研修、被災地の商品を販売、校内外で募金活動等を行っています。

3 東松島市との関係について

「災害に備えるマンホールトイレシンポジウム（平成27年11月）」において、目黒星美学園から、「災害時に出来ること」や「トイレ問題」、特に女子生徒の考えるマンホールトイレの設備について報告がありました。

報告内容は、本市で整備を行っている、マンホールトイレの改善に役立つものであったため、女子生徒の報告内容を参考に改善を行うことで、これまで重視されてこなかった「快適性」へ意識を向けることができました。

その成果を、防災教育を担当している先生から生徒に伝わり、自分たちの考えた内容が実現し大変感激されました。

このことから昨年、被災地ボランティア研修の研修地の一つとして、本市でマンホールトイレ等について研修を行っていただき、本年度も、7月22日、23日に「防災教育体験宿泊施設キボッチャ」で研修が行われます。



生徒が考えたロゴ